

【令和2年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	R 2年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証(案)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点(●) 	自己評価							
01	<p>2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保より質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師、薬剤師等医療従事者の確保、定着を図る。</p> <p>特に、医師の勤務条件を緩和するため医師確保と医師定着化の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂温泉病院勤務医師、岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置している地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 ・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用 ・医師募集エージェントへの登録 ・医療ニーズに柔軟かつ迅速に対応できる非常勤医師の活用 ・医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者の充実 ・地元出身者や地元関係者への働きかけ <p>看護師負担の軽減のため、ポーター制度の継続、パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)の定着及び看護補助者の適正配置など支援体制の充実を図る。また、看護体制維持</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○ 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は4月から新たに外科医1名、泌尿器科医1名を常勤医として確保した。なお、引き続き臨床研修医2名を確保することができた。 ・内科及び小児科は年間を通して、各1名専攻医として確保できた。(総合医療センター及び岐阜大学附属病院) ・医師募集エージェントへの登録(インターネット等の活用) <p>昨年度に引き続き募集情報を登録 8社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤医不在の診療科(耳鼻咽喉科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保し、地域の県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,708 回</td> <td>1,793 回</td> <td>1,498 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において、ワークライフバランス(WLB)推進を継続した。連続休暇取得を呼びかけ5日連続休暇は67%の職員が取得できた。年休取得に関して、取得状況を随時知らせることで、令和2年度年休取得率は、7.8日であった。 ・看護の質の向上と拘束時間の短縮を目的に、「PNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)」を引き続き実施した。 	H30	R 1	R 2	1,708 回	1,793 回	1,498 回	III	医療従事者の確保、コロナ病棟の設置について評価できる。
H30	R 1	R 2								
1,708 回	1,793 回	1,498 回								

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																													
	<p>に必要な看護師数の確保を図るため、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進、再就職支援者研修及び学校訪問などに取り組む。</p> <p>薬剤師確保の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬学部のある大学教員や薬学生との交流や行事などへの参加の推進 ・地元出身者及び地元関係者への働きかけ ・病院ホームページや地域情報誌などを通じた情報発信 ・薬剤業務補助者の活用による薬剤師の負担軽減及び病棟業務やチーム医療への業務展開の維持・推進 ・薬剤師募集エージェントへの登録 <p>10 院内感染防止対策の充実</p> <p>感染対策チーム（ICT）及び抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動を充実させ、医療関連感染と職業感染の低減を図るため、以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員への啓発と環境整備による手指衛生行動の向上 ・職員教育と対策実施状況の点検による標準予防策と感染経路別予防策の強化 ・針刺し等血液曝露予防の啓発と、職員ワクチン接種プログラムによる職業感染防止の推進 ・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動による抗菌薬適正使用の推進 <p>また、アウトブレイクや重大な院内感染事例が発生した場合には、状況把握と疫学調査により対応し、感染拡大・再発防止策を講じるとともに、県民への適正な情報提供に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、透析センターもPNS導入後1年経過したため、同部署を加えて病棟等7部署に対し、PNSが適切に機能しているかを監査した。その結果、監査項目「できている」の平均が前年度の70%から83%に上昇し、改善が図られていることが確認できた。 ・退職後の看護師が中心となって患者搬送を行う「ポーター制度」廃止。プラチナ看護師としてPNS看護体制に加えた。 ・WLB推進事業委員会を中心に育児懇談会を毎年実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で懇談会を中止した。お便りを作成し配布し、育児休業明けの看護師の不安軽減に努めた。 ・法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。（非常勤看護師4名、非常勤看護補助者1名） ・再就職支援者研修を2回計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、中止とした。 <p>看護師等に係る採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○ コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取り組んでいる。薬剤師の確保については、随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、欠員（1人）が充足できない状態が続いている。このため、薬剤師の補助として、医療サービス専門職2名を新たに配置した。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。（●）</p> <p>コメディカル（常勤）採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	職種別	H30	R 1	R 2	常勤	看護師	9	6	7	助産師	1	-	-	保健師	-	-	-	非常勤	(専門業務) 看護師	5	8	7	(業務補助) 看護師	1	1	-	(専門業務) 看護補助者	-	1	1	(業務補助) 看護補助者	1	2	-	職種別	H30	R 1	R 2							
職種別	H30	R 1	R 2																																												
常勤	看護師	9	6	7																																											
	助産師	1	-	-																																											
	保健師	-	-	-																																											
非常勤	(専門業務) 看護師	5	8	7																																											
	(業務補助) 看護師	1	1	-																																											
	(専門業務) 看護補助者	-	1	1																																											
	(業務補助) 看護補助者	1	2	-																																											
職種別	H30	R 1	R 2																																												

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																																																			
		<table border="1"> <tr><td>薬剤師</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>診療放射線技師</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。 ※薬剤師については、元年度に2人退職のため、増員となっていない。</p> <p>医師事務作業補助者採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務)医師事務作業補助者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p><u>10 院内感染防止対策の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全室個室化のメリットを活かし、コロナ患者受入専用病棟の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングエリアの設定と徹底した感染防止策で院内感染の発生がなかった。 ○ 院内感染防止マニュアルの整備・周知 <ul style="list-style-type: none"> ・「感染症法に基づく医師の届出について」「標準予防策と感染経路別予防策マニュアル」「新型コロナウイルス感染症外来対応フロー」を改訂した ・「新型コロナウイルス感染症入院対応フロー」「新型コロナウイルス感染対策マニュアル」「地域外来検査センター（PCR検査ドライブスルー）対応フロー」作成、改訂した。 ○ 感染管理教育の実施状況 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入転入職員研修</td> <td>3回（標準予防策、感染経路別予防策、職業感染対策）</td> <td>3回（標準予防策、感染経路別予防策、職業感染対策）</td> </tr> <tr> <td>全体研修会</td> <td>4講義×12回延べ1,487名 ①細菌検査の基本：参加368名、FUPレポート52名（履修率98%） ②CD感染症ガイドラインの紹</td> <td>個人防護具着脱 看護師149名、リハビリ14名、研修医4名 COVID-19関連WEBセミナー</td> </tr> </tbody> </table> 	薬剤師	0	2	0	臨床検査技師	1	1	5	臨床工学技士	1	0	1	診療放射線技師	2	2	0	理学療法士	2	0	0	作業療法士	2	0	0	言語聴覚士	0	0	1	社会福祉士	1	0	0	職種別	H30	R 1	R 2	(専門業務)医師事務作業補助者	0	1	1		R 1	R 2	新入転入職員研修	3回（標準予防策、感染経路別予防策、職業感染対策）	3回（標準予防策、感染経路別予防策、職業感染対策）	全体研修会	4講義×12回延べ1,487名 ①細菌検査の基本：参加368名、FUPレポート52名（履修率98%） ②CD感染症ガイドラインの紹	個人防護具着脱 看護師149名、リハビリ14名、研修医4名 COVID-19関連WEBセミナー		
薬剤師	0	2	0																																																		
臨床検査技師	1	1	5																																																		
臨床工学技士	1	0	1																																																		
診療放射線技師	2	2	0																																																		
理学療法士	2	0	0																																																		
作業療法士	2	0	0																																																		
言語聴覚士	0	0	1																																																		
社会福祉士	1	0	0																																																		
職種別	H30	R 1	R 2																																																		
(専門業務)医師事務作業補助者	0	1	1																																																		
	R 1	R 2																																																			
新入転入職員研修	3回（標準予防策、感染経路別予防策、職業感染対策）	3回（標準予防策、感染経路別予防策、職業感染対策）																																																			
全体研修会	4講義×12回延べ1,487名 ①細菌検査の基本：参加368名、FUPレポート52名（履修率98%） ②CD感染症ガイドラインの紹	個人防護具着脱 看護師149名、リハビリ14名、研修医4名 COVID-19関連WEBセミナー																																																			

項目 No.	R 2年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 				
		<ul style="list-style-type: none"> 介：参加375名、FUPレポート44名（履修率98%） ③カテーテル関連尿路感染症予防のために：参加370名、FUPレポート49名（履修率98%） ④おさらい接触・飛沫・空気予防策：参加374名、FUPレポート45名（履修率98%） 	<ul style="list-style-type: none"> ①72名（5月） ②108名（10月） 厚生労働省院内感染対策研修会WEB講習（5講義） 研修会参加延べ315名 WEB視聴延べ188名 抗菌薬適正使用のための研修会（資料研修+テスト）360名 			
		看護補助職員	手指消毒について	—		
		グループウェアを利用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニレクチャー：5回（伝染性紅斑、手足口病3回、CD感染症、CRE、COVID-19） ・岐阜県感染症発生動向調査：毎週1回配信 ・インフルエンザ流行状況：流行期間中は発生状況と感染対策を毎日配信 ・COVID-19発生後、定期的に情報まとめ配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19情報配信 ・ミニレクチャー（COVID-19、ユニバーサルマスキング） 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ ラウンドによる感染対策実施状況のチェック ・COVID-19入院、外来患者対応 ・感染対策相互チェック受審につき自己チェック ・感染経路別予防策実施状況の確認 ・感染防止対策加算算定病院相互チェック受審 ○ MRSA・CD感染症、COVID-19等の病院内外の感染症流行を受けて、情報共有と院内体制を確認した。 ○ 抗菌薬適正使用支援チームカンファレンスによる事例検討と、病院内外への抗菌薬教育により、国のAMR（薬剤耐性菌）アクションプランに参画した。 ○ 手指衛生直接観察の実施、手指消毒自動ディスペンサー増設、個人携帯の推進、手指消毒剤使用量モニタリングにより、手指衛強化した。 				
02	3 医療に関する相談体制の充実 苦情等へ迅速な対応ができる組織体制を充実す	3 医療に関する相談体制の充実	○ 医療相談室について、令和元年度に体制を強化し、令和2年度は社会福祉士3	Ⅲ	医療相談について評価できる。	

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																															
	<p>るほか、検査や薬の相談窓口を開設（医師説明の補助）する。</p>	<p>名、看護師3名の計6名体制で、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情や入退院にかかる相談業務に従事した。</p> <p>問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>3,896 件</td> <td>6,007 件</td> <td>6,431 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 接遇マナーの啓発活動の一環として啓蒙ポスターを作成し掲示した。また、令和2年9月11日～9月25日に接遇マナーチェックを実施した。委託職員を含む453名に配布、96.7%の回収率であった。</p> <p>マナーチェック結果 ※設問毎の平均割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">「概ねできている」以上の回答割合</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>96%</td> <td>95.3%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>97%</td> <td>92.1%</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>92%</td> <td>86.3%</td> <td>89.5%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	H30	R 1	R 2	医療福祉相談	3,896 件	6,007 件	6,431 件	項目	「概ねできている」以上の回答割合			H30	R 1	R 2	態度・表情等	96%	95.3%	93.0%	身だしなみ	97%	92.1%	95.2%	電話対応	92%	86.3%	89.5%		
項目	H30	R 1	R 2																														
医療福祉相談	3,896 件	6,007 件	6,431 件																														
項目	「概ねできている」以上の回答割合																																
	H30	R 1	R 2																														
態度・表情等	96%	95.3%	93.0%																														
身だしなみ	97%	92.1%	95.2%																														
電話対応	92%	86.3%	89.5%																														
05	<p>1 へき地医療の拠点的功能の充実 地域医療研究研修センターの充実及び診療所への医療支援を行う。 また、ドクターヘリの活用等により、高度医療機関との連携強化を図る。</p> <p>2 リハビリテーションの推進 地域リハビリテーションの基幹的な病院として、地域リハビリテーションの普及促進及び人材育成の役目を継承しつつ、地域包括ケアシステムを推進する。急性期・回復期・維持期の各段階において、切れ目なく、連続した幅広いリハビリテーションが適切に提供できるよう、特に次の事項に重点的に取り組む。</p>	<p>1 へき地医療の拠点的功能の充実 飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。 昨年度から引き続き下呂市が実施する産婦支援事業（産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業）に協力した。また、下呂市から引き続き乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期から、乳幼児期の支援体制づくりに寄与した。</p> <p>○ 乳幼児健診等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4か月児健診 12回、107人 ・ 1歳6か月健診及び歯科健診 <p>新型コロナウイルス感染症の予防対策により、別会場での実施となったため、当院では中止となった。</p> <p>2 リハビリテーションの推進</p> <p>○ リハビリテーションの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	H30	R 1	R 2					IV	<p>特筆すべきIVである。 地域の特性に対応した退院調整が増加しており、在宅療養への支援も行っている点は評価できる。 小児、産科、リハビリについて評価できる。</p>																			
項目	H30	R 1	R 2																														

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）																																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																				
	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期から回復期にかけて一貫した多職種連携による最適なリハビリテーション医療の提供及び在宅復帰支援 ・多職種連携によるケア会議の充実及び地域包括支援センターや地域の介護・福祉施設への患者情報の提供体制の確立 ・リウマチ患者に対する生活指導、相談等を行う教育入院の実施 ・退院前訪問指導の強化と退院後の生活を見据えた質の高い住宅環境整備指導の実施 ・手外科のリハビリテーション、ボトックス治療後のリハビリテーション及びがん患者の緩和リハビリテーションの充実 ・専門的かつ継続的な小児リハビリテーションの充実 ・嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）を活用した摂食機能療法の充実 <p>3 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <p>「生活の場の医療」の提供として、この地域で提供可能な急性期医療を推進するとともに、在宅復帰支援病棟（地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟）を有効活用することにより、在宅復帰支援の充実強化、医療依存度の高い在宅療養患者の支援を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携室の充実、在宅復帰及び在宅療養の支援に向けた関係機関との連携強化また、終末期医療体制の充実及び介護老人保健施設等との連携による看取りの推進を図る。 ・緩和部会を中心とした、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の理解の深化 ・緩和外来の実施 	<table border="1"> <tr> <td>実人数</td> <td>33,459人</td> <td>33,757人</td> <td>32,019人</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>92,330単位</td> <td>102,812単位</td> <td>101,196単位</td> </tr> </table> <p>○ 各種認定資格等の取得を推進し、リハビリテーションの充実、早期離床の推進及び退院後の生活を見据えた住環境整備等の指導に当たった。令和2年度はリハビリ退院前後の訪問指導を69件行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>認定資格等</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> <td>R 2</td> </tr> <tr> <td>呼吸認定療法士</td> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>早期離床アドバイザー</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター</td> <td>16名</td> <td>17名</td> <td>19名</td> </tr> </table> <p>※R2：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 計28名</p> <p>○ 疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションの実施（患者数）</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> <td>R 2</td> </tr> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>43名</td> <td>48名</td> <td>56名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>67名</td> <td>45名</td> <td>30名</td> </tr> </table> <p>3 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <p>令和2年における在宅復帰率は、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟においても施設基準に定める7割以上を達成した。</p> <p>令和2年度 病棟別在宅復帰率</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">病棟</td> <td rowspan="2">回復期リハビリテーション病棟</td> <td colspan="3">地域包括ケア病棟</td> </tr> <tr> <td>東3階病棟</td> <td>東4階病棟</td> <td>西4階病棟</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>83.90%</td> <td>91.9%</td> <td>80.2%</td> <td>81.5%</td> </tr> </table> <p>○ 関係機関との連携強化</p> <p>地域連携運営部会の設置により地域包括ケア病棟の運用、看取りに関すること、地域連携に関することを協議している。令和2年度には下呂市への要望書を提出、検討会を行った。お互いの現状を知る機会となり、連携の必要性を再認識した。</p> <p>施設における看取り支援については、現在2施設と連携を行っている。令和2年度、看取り希望者は23件、看取り対象者は21件だった。</p> <p>○ 地域連携室による地域との連携</p> <p>退院調整業務件数は年々増加傾向である。</p>	実人数	33,459人	33,757人	32,019人	疾患別リハ実施数	92,330単位	102,812単位	101,196単位	認定資格等	H30	R 1	R 2	呼吸認定療法士	5名	5名	4名	早期離床アドバイザー	1名	1名	1名	福祉住環境コーディネーター	16名	17名	19名	項目	H30	R 1	R 2	小児リハビリ	43名	48名	56名	手外科リハビリ	67名	45名	30名	病棟	回復期リハビリテーション病棟	地域包括ケア病棟			東3階病棟	東4階病棟	西4階病棟	復帰率	83.90%	91.9%	80.2%	81.5%			
実人数	33,459人	33,757人	32,019人																																																			
疾患別リハ実施数	92,330単位	102,812単位	101,196単位																																																			
認定資格等	H30	R 1	R 2																																																			
呼吸認定療法士	5名	5名	4名																																																			
早期離床アドバイザー	1名	1名	1名																																																			
福祉住環境コーディネーター	16名	17名	19名																																																			
項目	H30	R 1	R 2																																																			
小児リハビリ	43名	48名	56名																																																			
手外科リハビリ	67名	45名	30名																																																			
病棟	回復期リハビリテーション病棟	地域包括ケア病棟																																																				
		東3階病棟	東4階病棟	西4階病棟																																																		
復帰率	83.90%	91.9%	80.2%	81.5%																																																		

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証 (案)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 									
	<p>さらに、認定看護師など専門性の高い能力を活用して在宅療養支援の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションや施設との連携による在宅療養患者への支援 ・ストーマ外来や褥瘡外来における患者への生活指導の実施 ・排尿自立支援チームによる病棟ラウンドの実施など在宅療養へのスムーズな移行への支援 ・オスメイト (ストーマ保有者) 患者会との連携や勉強会の実施など在宅サポートの充実 ・ホームページへの認定看護師からの最新情報の掲載、地域からの相談の積極的な受入れなど在宅療養支援の充実 <p>4 地域性を踏まえた予防医療の推進 総合健診センターの人的体制及び設備の充実を図りつつ、次のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂市及び岐阜県などと連携し、がん検診の精度管理の向上を図りつつ、下呂市健診・検診の更なる拡大 ・幅広い受診者ニーズに的確に対応できるよう健診コース等の更なる充実 ・生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・健診受診後の特定保健指導等での働きかけや精密検査の受診勧奨などのきめ細かい事後対応 <p>また、認知症の早期診断方法の普及を図るとともに、地域と連携し、リハビリテーションを組み合わせた認知症予防対策を推進する。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院調整業務件数</td> <td style="text-align: center;">11,156 件</td> <td style="text-align: center;">15,515 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域の特性である独居や高齢者世帯の増加、認知症患者の増加などにより施設入所を希望される患者・家族が増加してきている。このような現状を踏まえながら、地域連携室の機能を強化し在宅復帰、在宅療養への支援を引き続き行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和部会では、e-ラーニング学習を推奨研修として提案した。患者と家族の認識のズレなどACPに関する相談はなかった。緩和ケア外来は、院外紹介が今年度8件、前年度は6件だったため紹介数は増加した。 ○ 訪問看護師とは介入患者への支援を通じ、電話、メール、ケア会議等で連携している。今年度は34件連携した。 ○ ストーマ外来受診患者数延べ194名 褥瘡外来受診患者数延べ113名 患者会は新型コロナウイルス感染症防止のため実施できなかった。 地域 (訪問看護師と他病院施設) との連携 ストーマ12件 創傷 6件 ○ 排尿自立介入患者でR2年度は37人、140件ラウンドを行った。 算定件数は114件。退院後外来フォロー8人 (21.6%) 実施した。 ○ 摂食・嚥下障害認定看護師を中心に、嚥下造影検査 (VF) ・嚥下内視鏡検査 (VE) を活用し、摂食機能療法看護師算定2,073件、摂食嚥下支援カンファレンス22人、97件行い、摂食嚥下評価入院2件受け入れた。 <p><u>4 地域性を踏まえた予防医療の推進</u> 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提として、全体としては開始時期を遅らせつつ健診業務を進めた。 検査の内容については、人間ドック等に係る肺機能検査の実施を見合わせたが、受診者数については全体としては堅調に推移し、1日ドックについては100人以上受診者が増加した。 内訳として、下呂市職員の年代別総合健診受診者が43人、下呂市国保ドック受診者が24人増加した。 平成26年度以降、当院で旧下呂町 (6地区) の住民健診を実施し、平成28年度からは下呂市乳がん、前立腺がん検診を受託するなど、健康診断受診率の向上と予防医療の推進を図っている。 下呂市がん検診は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より検診開始</p>		R 1	R 2	退院調整業務件数	11,156 件	15,515 件			
	R 1	R 2									
退院調整業務件数	11,156 件	15,515 件									

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																																																													
		<p>時期が遅くなったため、受診者数が減少した。 また、昨年度に引き続き、勤労者のために「日曜健診」を2回実施し 81 名の受診者を受け入れた。</p> <p>日曜健診の実施人数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">83 名</td> <td style="text-align: center;">67 名</td> <td style="text-align: center;">81 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度より子宮細胞診及び喀痰細胞診について検査方法などの見直しにより精度の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮細胞診については直接塗抹法から液状検体法に改めた。 ・喀痰細胞診についてはダブルスクリーニングを行うよう改めた。 <p>総合健診センター部 受診者数 (単位：名)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日ドック</td> <td style="text-align: center;">1, 111</td> <td style="text-align: center;">1, 148</td> <td style="text-align: center;">1, 250</td> </tr> <tr> <td>1 日+MR I</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">49</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td style="text-align: center;">1, 744</td> <td style="text-align: center;">1, 856</td> <td style="text-align: center;">1, 913</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td style="text-align: center;">1, 950</td> <td style="text-align: center;">2, 087</td> <td style="text-align: center;">1, 970</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td style="text-align: center;">623</td> <td style="text-align: center;">629</td> <td style="text-align: center;">617</td> </tr> <tr> <td>定期健診 (下呂温泉病院、下呂看護専門学校)</td> <td style="text-align: center;">798</td> <td style="text-align: center;">712</td> <td style="text-align: center;">718</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">59</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> <tr> <td>その他 (企業健診他)</td> <td style="text-align: center;">582</td> <td style="text-align: center;">690</td> <td style="text-align: center;">870</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">6, 910</td> <td style="text-align: center;">7, 231</td> <td style="text-align: center;">7, 424</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康診断収益の推移 単位：千円 (税抜)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診断収益</td> <td style="text-align: center;">100, 142</td> <td style="text-align: center;">101, 989</td> <td style="text-align: center;">104, 341</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定保健指導の実施率等にも新型コロナウイルス感染症が影響した。 県職員・県警察職員については、引き続き 100%達成することができた。 教職員については、対面実施以外に郵送が選択肢に加わったことが実施率の低下につながった。</p>		H30	R 1	R 2	83 名	67 名	81 名		H30	R 1	R 2	1 日ドック	1, 111	1, 148	1, 250	1 日+MR I	46	48	49	脳ドック	1	2	0	生活習慣病予防健診	1, 744	1, 856	1, 913	下呂市がん検診	1, 950	2, 087	1, 970	下呂市特定・すこやか健診	623	629	617	定期健診 (下呂温泉病院、下呂看護専門学校)	798	712	718	下呂市肝炎ウイルス検査	55	59	37	その他 (企業健診他)	582	690	870	合計	6, 910	7, 231	7, 424		H30	R 1	R 2	健康診断収益	100, 142	101, 989	104, 341		
H30	R 1	R 2																																																													
83 名	67 名	81 名																																																													
	H30	R 1	R 2																																																												
1 日ドック	1, 111	1, 148	1, 250																																																												
1 日+MR I	46	48	49																																																												
脳ドック	1	2	0																																																												
生活習慣病予防健診	1, 744	1, 856	1, 913																																																												
下呂市がん検診	1, 950	2, 087	1, 970																																																												
下呂市特定・すこやか健診	623	629	617																																																												
定期健診 (下呂温泉病院、下呂看護専門学校)	798	712	718																																																												
下呂市肝炎ウイルス検査	55	59	37																																																												
その他 (企業健診他)	582	690	870																																																												
合計	6, 910	7, 231	7, 424																																																												
	H30	R 1	R 2																																																												
健康診断収益	100, 142	101, 989	104, 341																																																												

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																																																																											
		<p>協会けんぽについては、個々の受診者の健診センター滞在時間をできるだけ短くするなどの感染予防対策を講じたが、一方で、一定の検査結果の判明を踏まえて実施する対面指導が時間的に間に合わなかったケースなどもあり、実施率の低下につながった。</p> <p>特定保健指導実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>157件</td> <td>164件</td> <td>134件</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定保健指導実施率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県職員</td> <td>94.4</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>県警察職員</td> <td>80.0</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>69.4</td> <td>83.9</td> <td>75.8</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>45.2</td> <td>48.6</td> <td>32.0</td> </tr> <tr> <td>市町村職員</td> <td>73.3</td> <td>77.8</td> <td>78.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>脳MRI、胸部CT、腹部CT等 がん検査受診者数 (単位：名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MRI</td> <td>83</td> <td>125</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>100</td> <td>152</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>腹部CT</td> <td>78</td> <td>139</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>全身MRI・CT</td> <td>23</td> <td>36</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>大腸CT</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>前立腺MRI(※2)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>もの忘れドック</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>AICS検査(※1・2)</td> <td>13</td> <td>50</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>321</td> <td>525</td> <td>368</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査 ※2 当該検査については令和元年度末で廃止</p> <p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進 ○ 地域包括ケア病棟 病床機能の役割分担として、地域包括ケア病棟3棟104床を運用している。令</p>		区分	H30	R 1	R 2	実数	157件	164件	134件		H30	R 1	R 2	県職員	94.4	100	100	県警察職員	80.0	100	100	教職員	69.4	83.9	75.8	協会けんぽ	45.2	48.6	32.0	市町村職員	73.3	77.8	78.6	項目	H30	R 1	R 2	脳MRI	83	125	116	胸部CT	100	152	110	腹部CT	78	139	101	全身MRI・CT	23	36	32	大腸CT	0	3	1	前立腺MRI(※2)	5	3	—	もの忘れドック	19	17	8	AICS検査(※1・2)	13	50	—	計	321	525	368		
区分	H30	R 1	R 2																																																																										
実数	157件	164件	134件																																																																										
	H30	R 1	R 2																																																																										
県職員	94.4	100	100																																																																										
県警察職員	80.0	100	100																																																																										
教職員	69.4	83.9	75.8																																																																										
協会けんぽ	45.2	48.6	32.0																																																																										
市町村職員	73.3	77.8	78.6																																																																										
項目	H30	R 1	R 2																																																																										
脳MRI	83	125	116																																																																										
胸部CT	100	152	110																																																																										
腹部CT	78	139	101																																																																										
全身MRI・CT	23	36	32																																																																										
大腸CT	0	3	1																																																																										
前立腺MRI(※2)	5	3	—																																																																										
もの忘れドック	19	17	8																																																																										
AICS検査(※1・2)	13	50	—																																																																										
計	321	525	368																																																																										

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																																																																									
		<p>和2年度は、新型コロナウイルス感染症患者病床の確保のため東4病棟は一般患者の入院を制限したこともあり稼働率は低下している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">病棟名・区分</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">東4</td> <td>延べ患者数</td> <td>10,473人</td> <td>9,168人</td> <td>4,228人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>75.5%</td> <td>65.9%</td> <td>30.5%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>93.0%</td> <td>86.7%</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>38.6日</td> <td>36日</td> <td>26.1日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">西4</td> <td>延べ患者数</td> <td>10,062人</td> <td>8,758人</td> <td>9,286人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>72.6%</td> <td>62.9%</td> <td>67.0%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>83.1%</td> <td>83.7%</td> <td>81.5%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>33.5日</td> <td>37日</td> <td>34.8日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">東3</td> <td>延べ患者数</td> <td>3,269人</td> <td>6,082人</td> <td>6,450人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>64.2%</td> <td>59.4%</td> <td>63.1%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>97.7%</td> <td>89.3%</td> <td>91.9%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>16.4日</td> <td>18.1日</td> <td>18.4日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東4病棟は、R2年10月から新型コロナウイルス感染症病床として稼働 ※東3病棟は、運用開始のH30.10月からの実績 ※在宅復帰率は6ヶ月平均の3月末値</p> <p>○ 継続看護連絡会議 令和2年度は、医療依存度の高い患者の災害時を想定した退院指導を目標として活動した。新型コロナ感染予防の影響で活動時間が減少し必要な指導項目の抽出までとなった。次年度継続して指導マニュアル作成へとつなげる。</p> <p>会議の実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括ケア判定会議</td> <td>120回</td> <td>100回</td> <td>107回</td> </tr> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>105回</td> <td>163回</td> <td>78回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導 当院の皮膚・排泄ケア認定看護師が、メール、電話、手紙などでの相談に対応した(18件)。また、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。出張講義はできなかった。</p>				病棟名・区分		H30	R 1	R 2	東4	延べ患者数	10,473人	9,168人	4,228人	病床利用率	75.5%	65.9%	30.5%	在宅復帰率	93.0%	86.7%	80.2%	平均在院日数	38.6日	36日	26.1日	西4	延べ患者数	10,062人	8,758人	9,286人	病床利用率	72.6%	62.9%	67.0%	在宅復帰率	83.1%	83.7%	81.5%	平均在院日数	33.5日	37日	34.8日	東3	延べ患者数	3,269人	6,082人	6,450人	病床利用率	64.2%	59.4%	63.1%	在宅復帰率	97.7%	89.3%	91.9%	平均在院日数	16.4日	18.1日	18.4日	会議名	H30	R 1	R 2	地域包括ケア判定会議	120回	100回	107回	継続看護連絡会議	105回	163回	78回		
病棟名・区分		H30	R 1	R 2																																																																							
東4	延べ患者数	10,473人	9,168人	4,228人																																																																							
	病床利用率	75.5%	65.9%	30.5%																																																																							
	在宅復帰率	93.0%	86.7%	80.2%																																																																							
	平均在院日数	38.6日	36日	26.1日																																																																							
西4	延べ患者数	10,062人	8,758人	9,286人																																																																							
	病床利用率	72.6%	62.9%	67.0%																																																																							
	在宅復帰率	83.1%	83.7%	81.5%																																																																							
	平均在院日数	33.5日	37日	34.8日																																																																							
東3	延べ患者数	3,269人	6,082人	6,450人																																																																							
	病床利用率	64.2%	59.4%	63.1%																																																																							
	在宅復帰率	97.7%	89.3%	91.9%																																																																							
	平均在院日数	16.4日	18.1日	18.4日																																																																							
会議名	H30	R 1	R 2																																																																								
地域包括ケア判定会議	120回	100回	107回																																																																								
継続看護連絡会議	105回	163回	78回																																																																								

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証（案）																																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係施設職員褥瘡ケア指導</td> <td style="text-align: center;">8 回</td> <td style="text-align: center;">5 回</td> <td style="text-align: center;">6 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 外来継続用紙 外来部門では、「外来継続用紙」を基に患者情報を共有し、継続看護が必要な患者に対して、生活指導を行うことができた。 令和2年度は外来看護師が関わり、在宅療養指導料を280件算定した。</p> <p>①在宅自己注射指導管理料 延件数（実人数）</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td>整形外科</td><td style="text-align: right;">285 件</td><td style="text-align: right;">(38 人)</td></tr> <tr><td>小児科</td><td style="text-align: right;">71 件</td><td style="text-align: right;">(13 人)</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td style="text-align: right;">30 件</td><td style="text-align: right;">(14 人)</td></tr> <tr><td>外科</td><td style="text-align: right;">4 件</td><td style="text-align: right;">(4 人)</td></tr> <tr><td>腎臓内科</td><td style="text-align: right;">23 件</td><td style="text-align: right;">(4 人)</td></tr> <tr><td>内科</td><td style="text-align: right;">147 件</td><td style="text-align: right;">(21 人)</td></tr> </table> <p>②ストーマ指導料 276 件 (43 人)</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td>外科</td><td style="text-align: right;">165 件</td><td style="text-align: right;">(35 人)</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td style="text-align: right;">111 件</td><td style="text-align: right;">(8 人)</td></tr> </table> <p>③寝たきり管理料 87 件 (20 人)</p> <p>○ 在宅患者訪問看護・指導料（専門性の高い訪問看護実施） 平成28年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、計画的な訪問看護を実施しているが、令和2年度は、対象患者がいなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>訪問看護・指導内容</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td style="text-align: center;">4 回</td> <td style="text-align: center;">0 回</td> <td style="text-align: center;">0 回</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> <td style="text-align: center;">0 回</td> <td style="text-align: center;">0 回</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R 1	R 2	関係施設職員褥瘡ケア指導	8 回	5 回	6 回	整形外科	285 件	(38 人)	小児科	71 件	(13 人)	皮膚科	30 件	(14 人)	外科	4 件	(4 人)	腎臓内科	23 件	(4 人)	内科	147 件	(21 人)	外科	165 件	(35 人)	泌尿器科	111 件	(8 人)	訪問看護・指導内容	H30	R 1	R 2	緩和ケア(退院後指導)	4 回	0 回	0 回	褥瘡ケア	1 回	0 回	0 回		
	H30	R 1	R 2																																													
関係施設職員褥瘡ケア指導	8 回	5 回	6 回																																													
整形外科	285 件	(38 人)																																														
小児科	71 件	(13 人)																																														
皮膚科	30 件	(14 人)																																														
外科	4 件	(4 人)																																														
腎臓内科	23 件	(4 人)																																														
内科	147 件	(21 人)																																														
外科	165 件	(35 人)																																														
泌尿器科	111 件	(8 人)																																														
訪問看護・指導内容	H30	R 1	R 2																																													
緩和ケア(退院後指導)	4 回	0 回	0 回																																													
褥瘡ケア	1 回	0 回	0 回																																													
11	※ 社会的な要請への協力 医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	<p>下呂市が実施する「障がい児療育支援事業」に対し、当院から専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的な要請に応えた。</p> <p>【派遣回数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">8 回</td> <td style="text-align: center;">10 回</td> <td style="text-align: center;">7 回</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R 1	R 2	8 回	10 回	7 回	Ⅲ	障がい児療育支援事業について評価できる。																																						
H30	R 1	R 2																																														
8 回	10 回	7 回																																														
15	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 指定地方公共機関として、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び業務計画に定めるところに	<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月1日より新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けた。新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟については、保健所、関連医療機関と連携・情報共有しながら全室個室の強みを生かし、フェーズに応じて最大 	Ⅳ	オール個室の特性を生かして、多くのコロナ感染者を受け入れており、感染症重点医療機関としての役割を果たしたと																																												

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証 (案)								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価									
	より、岐阜県、関係市町及び医療機関と相互に連携・協力し、新型インフルエンザ等対策の実施に努める。 また、業務計画の定期的な見直しなどにより受入体制の充実を図るとともに、必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を実施する。	<p>38床まで患者を受け入れる体制を整備し、飛騨圏域及び近隣圏域でクラスター感染した多くの入院患者に対応した。 新型コロナウイルス感染入院患者受入れ 令和2年10月～令和3年3月 延べ596人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂圏域及び近隣圏域の医療機関、保健所等から報告を受けた感染疑い患者及び濃厚接触者に対し、ドライブスルー方式による検体採取や完全に他患者との接触を避けた発熱外来など、早期にPCR検査(LAMP法)を実施するための効率的で低リスクの検査体制を構築した。これにより関連医療機関等との情報共有から検査実施までの連携が速やかに行われた。 ・24時間の電話相談体制を設けて、発熱者の相談を受け、医療機関への受診へとつなげた。(相談件数 55件) 		思われる。								
16	3 ICT (情報通信技術) の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 人事給与システム等各種システムやICTの活用により、経営効率の高い業務執行体制の充実を図る。	3 ICT (情報通信技術) の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 人事給与システム・旅費システム等を活用し、事務の合理化を引き続き進めた。 人事給与システムは、令和3年3月末で新システムに移行した。 国のデジタル化政策に対応し、雇用保険、消費税の申請を電子申請に移行した。	Ⅲ	社保手続きも電子申請を利用されると良い。								
22	1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施 複数年契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の合理化を図る。 また、より有利な契約交渉を実践していくために、ベンチマークシステムの導入、地域に隣接する他病院との共同購入体制の可否等を検討・協議する。 さらに、既に締結した保守契約については、委託期間、委託内容及びその方法を再度検証し、病院全体として支出を抑えていくよう精査を行う。	<p>※ 多様な契約手法の導入</p> <p>○ 部門長及び実施業者と内容及び必要性を精査しつつ、保守委託契約とスポット保守の比較検討を進めた。 引き続き、比較・分析を継続の上、複数年契約等も含めた有利な契約方針を決定していく必要がある。 電気需給契約については、引き続き節電等を行い、経費削減に努めている。 (単位：千円 税込)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>71,602</td> <td>72,331</td> <td>64,355</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 医療機器のメンテナンス費用 (保守委託) については、昨年度に引き続き、内容及び必要性を精査し、スポット契約への切り換える等により経費削減に努めている。</p> <p>○ 次の維持管理業務については、3年間の複数年契約を締結しており、引き続き経費の節減に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 警備業務、機械、監視室等保安全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務 	区分	H30	R 1	R 2	電気料金	71,602	72,331	64,355	Ⅲ	電気料金の削減や複数年契約を生かした経費削減は引き続き努力されたい。
区分	H30	R 1	R 2									
電気料金	71,602	72,331	64,355									
23	2 人間ドック等の積極的な受入れ 健康診断の最も基本的なコースである人間ドック	2 人間ドック等の積極的な受入れ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提と	Ⅲ	人間ドックの受診数について評価できる。								

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証 (案)																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																											
	<p>クの積極的な受入れ、幅広い受診者ニーズに応えるための健診コース等の更なる充実及び下呂市健診・検診の拡大により収入の確保に努める。</p>	<p>しつつ、人間ドック等の着実な実施に努めた。</p> <p>1日ドックについては100人以上受診者が増加した。内訳として、下呂市職員の年代別総合健診受診者が43人、下呂市国保ドック受診者が24人増加した。</p> <p>下呂市がん検診の受診者の減少については、例年よりも約2ヶ月当該健診の開始時期が遅くなったことが影響した。</p> <p>1日ドック 受診者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,111</td> <td>1,148</td> <td>1,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>下呂市がん検診等 受診者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,950</td> <td>2,087</td> <td>1,970</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか検診</td> <td>623</td> <td>629</td> <td>617</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>55</td> <td>59</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2		1,111	1,148	1,250		H30	R1	R2	下呂市がん検診	1,950	2,087	1,970	下呂市特定・すこやか検診	623	629	617	下呂市肝炎ウイルス検査	55	59	37		
	H30	R1	R2																										
	1,111	1,148	1,250																										
	H30	R1	R2																										
下呂市がん検診	1,950	2,087	1,970																										
下呂市特定・すこやか検診	623	629	617																										
下呂市肝炎ウイルス検査	55	59	37																										
25	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率75%以下を達成する。</p>	<p>【経常収支比率】 収支計画の設定比率91.7%に対して、決算では103.6%となり、計画を達成できた。</p> <p>【医業収支比率】 収支計画の設定比率94.5%に対して、決算では106.8%となり、計画を達成できた。</p> <p>【職員給与費対医業収益比率】 収支計画の設定比率85.9%に対して、決算では93.9%となり、計画を達成できなかったものの、対前年度比で0.6ポイント改善した。</p> <p>次年度以降、引き続き経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>1 予算に対する実績 (予算執行状況) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>4,454</td> <td>4,831</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>3,443</td> <td>2,995</td> <td>▲448</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>978</td> <td>978</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	4,454	4,831	377	医業収益	3,443	2,995	▲448	運営費負担金収益	978	978	0	III	<p>職員給与費対医業収益比率75%以下の達成に向けて引き続き努力されたい。</p>				
区 分	計画額	決算額	増減																										
収入																													
営業収益	4,454	4,831	377																										
医業収益	3,443	2,995	▲448																										
運営費負担金収益	978	978	0																										

項目 No.	R 2年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				
		その他営業収益	32	857	825	
		営業外収益	62	62	0	
		運営費負担金収益	50	50	0	
		その他営業外収益	12	13	0	
		資本収入	171	248	77	
		長期借入金	16	4	▲12	
		運営費負担金	143	136	▲7	
		その他資本収入	11	108	97	
		その他の収入	0	0	0	
		計	4,687	5,142	455	
		支出				
		営業費用	4,395	4,151	▲244	
		医業費用	4,154	3,914	▲240	
		給与費	2,723	2,659	▲64	
		材料費	621	504	▲117	
		経費	793	744	▲49	
		研究研修費	17	7	▲10	
		一般管理費	241	238	▲3	
		給与費	163	158	▲5	
		経費	79	80	1	
		営業外費用	86	86	0	
		資本支出	312	390	78	
		建設改良費	45	125	80	
		償還金	267	265	▲2	
		その他資本支出	0	0	0	
		その他の支出	0	0	0	
		計	4,794	4,627	▲167	
		(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値が一致しないことがある。				
		2 収支計画に対する実績 (損益計算書) (単位: 百万円)				
		区 分	計画額	決算額	増減	
		収益の部	4,499	4,755	256	
		営業収益	4,438	4,684	246	
		医業収益	3,427	2,976	▲451	
		運営費負担金収益	978	965	▲13	

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				
		資産見返負債戻入	0	0	0	
		その他営業収益	32	744	712	
		営業外収益	62	62	0	
		運営費負担金収益	50	50	0	
		その他営業外収益	12	12	0	
		臨時利益	0	9	9	
		費用の部	4,907	4,592	▲315	
		営業費用	4,697	4,386	▲311	
		医業費用	4,447	4,141	▲306	
		給与費	2,781	2,637	▲144	
		材料費	565	462	▲103	
		経費	735	689	▲46	
		減価償却費	350	347	▲3	
		研究研修費	15	6	▲9	
		一般管理費	250	246	▲4	
		給与費	163	157	▲6	
		減価償却費	21	21	0	
		経費	67	68	1	
		営業外費用	210	194	▲16	
		臨時損失	0	11	11	
		予備費	0	0	0	
		純利益	▲408	163	571	
		目的積立金取崩額	0	0	0	
		総利益	▲408	163	571	
		(注1) (略)				
		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円)				
		区 分	計画額	決算額	増減	
		資金収入	6,547	6,746	199	
		業務活動による収入	4,516	4,727	211	
		診療業務による収入	3,443	3,004	▲439	
		運営費負担金による収入	1,028	1,015	▲13	
		その他の業務活動による収入	45	709	664	
		投資活動による収入	19	11	▲8	
		運営費負担金による収入	8	2	▲6	
		その他の投資活動による収入	11	9	▲2	

項目 No.	R 2 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証 (案)																																																																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																																																																							
		<table border="1"> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>152</td> <td>138</td> <td>▲14</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>▲12</td> </tr> <tr> <td> その他の財務活動による収入</td> <td>135</td> <td>134</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>前事業年度からの繰越金</td> <td>1,860</td> <td>1,870</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>6,547</td> <td>6,746</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>4,481</td> <td>4,383</td> <td>▲98</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>2,886</td> <td>2,984</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>621</td> <td>508</td> <td>▲113</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>978</td> <td>891</td> <td>▲87</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>45</td> <td>58</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>45</td> <td>57</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>267</td> <td>265</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金の返済による支出</td> <td>189</td> <td>187</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>翌事業年度への繰越金</td> <td>1,753</td> <td>2,040</td> <td>287</td> </tr> </table>	財務活動による収入	152	138	▲14	長期借入による収入	16	4	▲12	その他の財務活動による収入	135	134	▲1	前事業年度からの繰越金	1,860	1,870	10	資金支出	6,547	6,746	199	業務活動による支出	4,481	4,383	▲98	給与費支出	2,886	2,984	98	材料費支出	621	508	▲113	その他の業務活動による支出	978	891	▲87	投資活動による支出	45	58	13	有形固定資産の取得による支出	45	57	12	その他の投資活動による支出	0	2	2	財務活動による支出	267	265	▲2	長期借入金の返済による支出	189	187	▲2	移行前地方債償還債務の償還による支出	78	78	0	その他財務活動による支出	0	0	0	翌事業年度への繰越金	1,753	2,040	287			
財務活動による収入	152	138	▲14																																																																						
長期借入による収入	16	4	▲12																																																																						
その他の財務活動による収入	135	134	▲1																																																																						
前事業年度からの繰越金	1,860	1,870	10																																																																						
資金支出	6,547	6,746	199																																																																						
業務活動による支出	4,481	4,383	▲98																																																																						
給与費支出	2,886	2,984	98																																																																						
材料費支出	621	508	▲113																																																																						
その他の業務活動による支出	978	891	▲87																																																																						
投資活動による支出	45	58	13																																																																						
有形固定資産の取得による支出	45	57	12																																																																						
その他の投資活動による支出	0	2	2																																																																						
財務活動による支出	267	265	▲2																																																																						
長期借入金の返済による支出	189	187	▲2																																																																						
移行前地方債償還債務の償還による支出	78	78	0																																																																						
その他財務活動による支出	0	0	0																																																																						
翌事業年度への繰越金	1,753	2,040	287																																																																						
		(注1) (略)																																																																							
29	<p>1 内部統制の充実強化 内部監査等によるモニタリング※を通し、点検・検証を行い、継続的な見直しを行うことで、内部統制の充実強化を図る。 ※モニタリング：内部統制が有効に機能していることを継続的に評価するプロセスのこと。</p> <p>2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 災害等危機管理事案発生時には、理事長がリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応できる環境を整備するとともに、透明性の確保に努める。 また、病院全体で対応できるよう、幹部会などを活用した速やかな情報共有体制を維持・継続する。</p>	<p>1 内部牽制の強化 令和2年度については、医事課、院内感染対策室の執行内容について内部監査を実施した。 また、監査結果から内部監査項目を追加するほか、新たに総合健診センター部を監査対象として追加するなど、内部統制の充実を図った。</p> <p>2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 新型コロナウイルス感染症対応においては、理事長をトップとする「新型コロナウイルス感染症対策会議」において、運用・対応方針を決定するとともに、関係部署に情報共有・対応を指示し、新型コロナウイルス感染症入院患者の受入れ、対策等に積極的に関わった。</p>	IV	内部統制の充実については引き続き努力されたい。																																																																					